

グローバル人材育成プログラム に参加して

駒井悠希

Yuki KOMAI

環境ソリューション工学科 3年

1. はじめに

私は2017年8月17日から9月4日までの19日間にわたり、アメリカのカリフォルニア州で実習させて頂きました。初めの3日間は企業やキャリアセミナーを行いました。その後は、ホームステイをしながら企業研修を行いました。週末には国際交流イベントとしてBBQを行いました。

2. 志望動機

春休みに参加したBIEプログラムと言う短期留学を通し色々な事を学べたので、学んだことを活かして、グローバル人材育成プログラムでさらに自分を成長させたい思い志望しました。環境ソリューション工学科では多くの人が国内の実習を選択し、インターンシップやグローバル人材育成プログラムを選択する学生は少数です。しかし、私は短い学生生活の中で色々なことに挑戦することが成長に繋がります。重要だと考えています。私にとってグローバル人材育成プログラムは大きな挑戦だったので成長させるいい機会だと思い志望しました。

3. 目的

自分が学んでいることがどのように社会で活かされているか知り、今後の研究につなげる。文化が違う人たちとの働き方とコミュニケーションの仕方を学ぶ。海外のライフサイクルを学ぶ。現在、グローバル人材が求められると良く耳にします。現場で求められているグローバル人材や自分の理想のグローバル人材とは何かを学ぶ。ポジティブに物事を考えて積極的にコミュニケーションを取る。自ら行動と発言をする。

4. 企業訪問

私たちが訪問、見学したのは、AUTODESK 博物館、Google、Computer 博物館、Intel 博物館です。Google で見学と社員方の説明を聞いて、社員満足度や仕事効率をあげるために色々な取り組みに驚きました。フレックスタイム制は好きな時間に好きな場所では働けて、自由に生き楽しいイメージでした。しかし、Google の見学を通して自由ということは個人個人で自己管理が必要だと学びました。また、選択肢は多くある中で自分にあった働き方を見つけることが重要だと思いました。Computer 博物館では、技術を開発できても、意思決定のミスにより、その後の未来が大きく変化する事学びました。また、意思決定のミスを減らすためには、情報を「sign」か「noise」かを聞き分けることが重要だと学びました。

5. 実習内容

私は、Ardenwood Historic Farm という公園で2週間研修させていただきました。月曜日から木曜日はガーデンと公園整備を行いました。金曜日は牧場の仕事をしました。仕事は大きく区別すると公園整備、植物の管理、動物の管理の3種類があります。公園整備では、イベントに向けての準備や公園内の清掃、スプリンクラーの修理、動作確認などを行います。スプリンクラーの修理では、スプリンクラーの仕組みを教えてもらいながら修理をしました。また、動作確認のためにスプリンクラーの機械室にも入れてもらい、やり方を教えて頂きました。植物の管理として水やり、ウッドチップを上げたり、雑草抜き、外来種の駆除などを行いました。動物の管理は餌やり、飼育場所の清掃、ワクチン接種などがあります。餌の牧草は Ardenwood Historic Farm 内で育てており、それを刈って、乾燥させて動物たちにあげています。動物の飼育場合は子供たちに人気の場所なので、毎日清掃する必要があります。私を手伝わせてもらったワクチン接種はニワトリの胃の中

の微生物を殺すためのワクチンでした。

6. 実習を終えて

2週間の研修はすごく充実したいい経験が出来たと思います。ガーデニングや牧場の管理などはやった経験がなく、初心者でしたが自分なりに工夫して作業できたと思います。今まで大学の授業や教科書で学んできた知識が活用されていることや知識によって仕組みが理解する事ができました。しかし、学んできた知識を使って、どのように現場で活かされているのかを考えていなかったと感じました。今までは社会にどのように活かすかという視点がぬけていたのでこれからはこの視点を持ちながら研究や学習をしていきたいです。Ardenwood Historic Farmには小学校のサマーキャンプや家族連れなどが訪れていました。そこには、来られる人々が笑顔で楽しんでいる姿があり、自分も頑張ろうと力がでてきました。上司の方もみんなの笑顔を見るとモチベーションが上がり、エネルギーになるとおっしゃっていました。私も誰かの笑顔を作れるような仕事をしたいと思いました。

7. ホームステイ

私は過去に一度もホームステイの経験がなく、とても緊張していました。しかし、ホストファミリーは日本にいる時からskypeで連絡をして頂き、不安も少ない状態でアメリカに行くことが出来ました。ホストファミリーのかたはすごい優しく、食事や体調の面でも気を使っていたおかげで問題なく過ごすことができました。家にいる時はいつも話しかけてくれ、すぐに言葉が出ない場合も待ってくれじっくり話を聞いてくれました。ホストファミリーとの日常会話が英語力の向上に大きく貢献しまし



図1 ホストファミリーとの写真

た。週末には夜ご飯に連れていってもらうなど、凄く有意義な時間を過ごすことができました。ホストファミリーがいつでもおいでと言ってくくださったので、次に会うときはもっと会話ができるようにもっと英語を勉強していきたいです。

8. おわりに

今回のグローバル人材育成コースを通して、グローバル人材とは何かを学ぶことが目標の一つでした。私が考えるグローバル人材とは違う国など関係なく、個人個人を尊重し、理解することができ、他の人と違いを持って、他の人に必要とされる存在だと考えました。必要とされるようになってから、英語などの言語が重要になってくると考えるようになりました。今回のプログラムで自分の言いたいことを伝えられないことが多くあったので、今後も語学の勉強がさらに必要だと感じました。最後に快く受け入れてくださったホストファミリーや職場の皆さんに心よりお礼申し上げます。